

消防だより

令和3年(2021年)
4月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 11件
救急 : 372件
救助 : 2件

病院紹介(和歌山県救急医療情報センター) ☎073・426・1199

熱中症にご注意を

熱中症は気温が高いなどの環境下で、体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで起こります。特に小さい子どもや高齢者、持病がある方などは注意が必要です。また、昼間だけでなく夜間においても注意が必要です。

予防方法

- ・涼しい服装を心掛け、日よけ対策をしましょう。
- ・日頃から健康管理をして暑さに備えた体づくりをしましょう。
- ・こまめな水分補給を心掛けましょう。
- ・屋外にいる子どもは地面の照り返しで、高い気温にさらされやすい上、体温調節機能が未熟なため熱中症にかかりやすくなっています。また、高齢者は喉の渇きや暑さを感じ

応急手当

にくいほか、汗をかきにくく体温を下げるための体の反応が弱くなっており、自覚がないまま熱中症になる危険があります。

- ① 涼しい場所や日陰のある場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる。
 - ② エアコンや扇風機などで体を冷やす。
 - ③ 首のまわり、脇の下、太もものつけねなど、太い血管の部分をやや冷やす。
 - ④ 飲めるようであれば水分をこまめに取らせる。
- ※持病をお持ちの方や子どもは、かかりつけ医師にあらかじめ相談し、熱中症対策についてアドバイスをもらっておきましょう。

暑さを避けよう



不適切な電気配線による火災が発生しています

私たちの生活になくってはならない電気ですが、誤った配線をするとう火災が発生することがあります。

電気火災を防ぐポイント

- ① 電気コードを束ねたまま使用しない。
- ② 電気コードに外力をかけない。
- ③ 電気コードの「ねじり接続」をしない。

延長コード(テーブルタップ)を長時間フックにかけて使用していたため、コードの被覆が劣化し、ショートを起こし出火するという事案が、当町でも発生しています。もう一度、自宅・倉庫の電気配線の点検をお願いします。



外力をかけた出火



ねじり接続

地震に対する日頃の備え

地震はいつ起こるか分かりません。いつ発生しても自分の身を守り、被害を最小限に抑えられるように日頃から備えておきましょう。

●非常用持ち出し袋の準備を

災害発生後最低3日分の食料や飲料、救急セット、携帯ラジオ、懐中電灯など、避難生活に必要なものを入れておきましょう。

すでに準備している方は、賞味期限切れや点灯不良などがないか、定期的にチェックしましょう。

